



## 第拾卷第十號

### 日本人の覺悟

朝鮮も今度いよいよ日本と一體になりました、それに就き我國民の責任は、益々重大になりました次第で、形の上に於て既に一體となつた此韓國國民をして、普く皇化に露ぼしむるには、先づ第一に日本人の韓人に對する覺悟、心得方が大切であると存じます朝鮮人は日本と合邦しました爲に、今後その財産は安全に保つことが出来るやうになりましたが、由來權利思想に乏しく、自分で自分の尊むべきことをも知らない國民でありますから、それは教育の力に依らなければならぬのは勿論であります。自分が重んじ好く勵み、好く務め、その生活費の蓄むと同時に收入の道も多くなるとやうに計つてやると云ふことは、目下の急務でありませう。

それ故に合邦に就ても、日本の領土が廣くなつたとか、日本の國が膨脹したとか云ふことを喜んで聞かせるよりは、今度日本には新しい兄弟姉妹が殖ゑたと云ふ點を喜んで聞かせ、而も其兄弟姉妹は是迄我々よりも不幸の域に沈淪して居たのであるから、是からはお互に相扶けて、國利民福を進めて行くやうにしなければならぬ、若しも新たに得た一千萬の兄弟姉妹が何日まで今日の儘であつては日本人だけが、どの様に進歩しても、國の發達を遂げることは出来ない、自分一人豪くなつても、兄弟達が平々凡々では、文明の歩調を共にすることが出来ないから、是非とも之を慈み導いて行かればならぬと云ふ道理を、子供の心にも好く解るやうに聞かせると云ふのは、朝鮮に在留する人は勿論、内地の人にも非常に必要のことであると思ひます。